

～がんを知り がんと向き合う～



平成25年度がん公開講座講演集

第79回日本消化器病学会関東支部市民公開講座
おなかの病気～知ってお得！

大腸がん県民公開セミナー

茨城県がん診療連携協議会
茨城県立中央病院
2013年

「おなかの病気～知ってお得！」

・「大腸がん県民公開セミナー」講演集発行にあたって

日本人の5大がんと言われているのが、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がんです。この5つのがんのうち3つは消化器のがんです。男女別に8大がんまでを死亡数で見ますと、男性では①肺・②胃・③大腸・④肝臓・⑤膵臓・⑥前立腺・⑦食道・⑧胆道がん、女性では①大腸・②肺・③胃・④膵臓・⑤乳腺・⑥肝臓・⑦胆道・⑧子宮がんの順になります。8大がんのうち消化器がんは男性では6つ、女性では5つを占めます。したがって、消化器がんへの対策は、がん対策全体の中で大きな意味をもつこととなります。

こうしたことを踏まえ、日本消化器病学会関東支部の市民公開講座では、消化器がんに関連した内容を取り上げました。胃がんとヘリコバクター・ピロリ菌感染、大腸がんと食生活、肝がんと肝炎ウイルスとは密接なかかわりがあることが分かってきています。原因への対策ができれば、これらのがんは間違いなく減らすことができます。消化器がんの検診・診断・治療でも大きな進歩がみられていますので、こうした最新の情報もお伝えしました。新しい診断方法として話題を集めているカプセル内視鏡も取り上げてみました。

一方、茨城県では茨城県がん診療連携協議会の主催で、5大がんのうち、胃がん、肺がん、乳がん、肝がんを取り上げ、県民公開セミナーでがん知識の啓発を図ってまいりました。今回の県民公開セミナーでは、5大がんの最後として大腸がんを取り上げました。大腸がんは今や日本人のがん死亡の3番目に位置し、さらに増加の傾向にあります。前述しましたように、女性においてはがん死亡のトップに躍り出ています。大腸がんは無症状のことが多いので検診（便潜血検査）が重要です。また、便への血液付着などで発見されることも少なくありませんので、「痔（ぢ）」だと即断せず早期の受診が必須となります。大腸がんの治療については、患者さんにとって負担の少ない手術法、遠隔転移があっても治せる術式、延命効果の高い抗がん剤など、外科や化学療法の分野においても大きな進歩が近年みられています。

県民公開セミナーは従来、水戸会場とつくば会場の2カ所で開かれていました。今回は、日本消化器病学会関東支部の市民公開講座が水戸市で開かれ大腸がんについても取り上げたため、大腸がんの県民公開セミナーはつくば市単独での開催とさせていただきます。

2つの公開講座の内容を1つの講演集にまとめましたのでぜひ御一読ください。消化器がんを中心とする消化器病全般について、また消化器がんの中でも重要な位置を占めるようになった大腸がんについて、最新の情報をこの機会に学んでいただければ幸いです。



平成26年3月

茨城県がん診療連携協議会会長

茨城県立中央病院 病院長 永井 秀雄

目 次

【おなかの病気～知ってお得！】

プログラム	1
講演1 『ピロリ菌を退治しよう！』	2
講演2 『なが～い小腸が見られるようになった』	12
講演3 『女性のがん死1位は大腸がん』	19
講演4 『C型肝炎の昨日・今日・明日』	28
質疑応答	44

【大腸がん県民公開セミナー】

プログラム	51
講演1 『予防と検診』	52
講演2 『診断と内視鏡』	61
講演3 『開腹手術』	72
講演4 『腹腔鏡手術』	79
講演5 『化学療法』	83
質疑応答	90

【参考資料】

おなかの病気～知ってお得！アンケート結果	96
大腸がん県民公開セミナーアンケート結果	100
QA集	104
配布チラシ	105

※個人情報や著作権等の関係で、一部スライドの掲載を省略させていただいておりますことを、ご了承ください。